

平成29年度 第2回射水市子ども・子育て会議 議事要旨

- 1 開催日時 平成30年2月6日(火) 午後7時00分～午後8時20分
 - 2 開催場所 射水市役所本庁舎 3階 会議室301
 - 3 出席者
 - (1) 子ども・子育て会議委員
石津委員(会長)、金瀬委員(副会長)、明橋委員、上田委員、宮田委員、清水委員、竹内委員(越後委員代理)、森瀬委員、島井委員、立浪委員
 - (2) 当局
福祉保健部長、福祉保健部次長、子育て支援課長、保健センター所長、学校教育課長、生涯学習・スポーツ課長、子育て支援課職員5名、生涯学習・スポーツ課職員2名
 - 4 欠席者 朴木委員、二川委員、小林委員
-

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 平成30年度 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について(資料1)
 - (2) 射水市子ども・子育て支援事業計画関連について
 - ① 平成28年度 射水市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について(資料2)
 - ② 放課後児童健全育成事業について(資料3)
 - ③ 子ども・子育て支援事業計画の中間期見直し(案)について(別紙)
 - (3) (仮称)射水市子どもの未来応援計画～射水市子どもの貧困対策推進計画～について(資料4～)
- 4 閉会

《議事要旨》

(1) 平成 30 年度 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員について

(委員) 水戸田保育園の定員を増員すると説明されたが、面積的に受け入れは可能なのですか。

(事務局) 一人当たりの必要面積については、0歳児 1.65 m²、1歳児 3.3 m²、2歳児以上 1.98 m²と基準は厳格に定められていますが、その基準を満たした上で、この定員を考えているので、受け入れは可能です。

(2) 子ども・子育て支援事業関連について

質疑なし

(3) (仮称) 射水市子どもの未来応援計画～射水市子どもの貧困対策推進計画～について

(委員) 窓口相談に来られるケースはよいですが、困ったことがあっても相談に来られない方への対応やケアはどのように考えていますか。また、この計画は、外国人の方も含めての計画となっていますか。

(事務局) 委員のご意見については、実際の現場からも同様の意見をいただいております。出会ってすぐに話を聞くことは難しいと思うので、時間をかけて寄り添いながら相談内容を傾聴する等、信頼関係を築き上げることのできる相談、支援体制の確立が必要であると考えます。また、地域の行事等で困っている状況を垣間見ることができれば、地域の方から子育て支援課に連絡していただき、家庭児童相談員や母子・父子自立支援員が対応していきたいと考えております。

また、外国人の方につきましても、上記の対応をしたいと考えております。

(委員) ひとり親家庭のお子さんは、送り迎えをすることが難しいので、習い事の機会が少なく、体力面や不安定になっている気がします。送り迎えを援助する制度としてファミリーサポートセンターがあるが、ひとり親家庭でも利用できるように経済的支援も行ってほしいです。

(委員) 先ほども言われたように窓口に行くのは意識が高い一部の保護者のみである。本当に支援が必要な方はいかに来ていただけるかを具体的に考える必要があると思う。保護者の意識をいかに高めるかが大切だと思います。

(委員) 子どもが大人になった時に、自分が育った地域で子育てがしたいという地域づくりが大切だと思います。その為に、地域の関係機関が連携して、子どもを育てていくことを話し合える土壌作りが必要だと思います。